

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月28日

上場会社名 テルモ株式会社

上場取引所 東

コード番号 4543 URL <http://www.terumo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長

(氏名) 高橋 晃

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 広報室長

(氏名) 羽田野 彰士

TEL 03-3217-6550

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	238,897	3.2	49,989	9.8	50,369	17.9	31,858	10.8
21年3月期第3四半期	231,526	—	45,527	—	42,721	—	28,745	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	167.77	—
21年3月期第3四半期	148.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	405,284	309,478	76.3	1,628.93
21年3月期	379,064	278,166	73.4	1,464.27

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 309,327百万円 21年3月期 278,062百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
22年3月期	—	16.00	—		
22年3月期 (予想)				16.00	32.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	315,000	4.0	63,000	16.6	61,000	16.0	40,000	8.5	210.64

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 - ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第3四半期 | 210,876,260株 | 21年3月期 | 210,876,260株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第3四半期 | 20,980,021株 | 21年3月期 | 20,977,618株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 189,897,545株 | 21年3月期第3四半期 | 192,986,621株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年10月29日に公表致しました通期の連結業績予想を修正しておりません。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【 定性的情報・財務諸表等 】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、各国の財政政策により一定の効果が認められるものの、一部に二番底の可能性が指摘されるなど、中長期の景気動向は極めて不透明な状況が続いています。また、国内では円高からデフレ傾向が強まり、景気回復へのさらなる懸念材料となっています。

医療市場においては、依然として大型機器の需要が弱含む厳しい状況下、中国をはじめ一部の新興国では積極投資による市場拡大がみられるほか、米国では無保険者の解消に向けた医療制度改革の法案審議が国論を二分する議論に発展し予断を許さない状況となっています。また、日本はもとより欧州をはじめとした先進各国においても、今後ますます厳しくなる医療財政に対し制度改革も含めた抜本策の検討、議論が活発に行われており、まさに今までにないスケールで医療の構造変化が起き始めています。

当社は、医療の質を高め効率化を推進する「医療経済性」に貢献する商品とサービスをグローバルに展開しています。当期間については、次なる成長に向けての積極投資を継続して行ったほか、中国をはじめとする新興国の事業拡大に向けた取り組みなどを推進しました。また、経営の効率化をさらにすすめる、経営体質の強化に努めました。

当第3四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。

<売上高>

連結売上高は、国内は7.2%、海外は現地通貨ベースで10.6%の伸長となりました。トータルでは円高の影響を克服し、前年同期比3.2%増の2,389億円となりました。

地域別

(単位：百万円)

地 域	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	伸長率	為替影響除く 伸長率
日本	124,158	133,134	7.2%	7.2%
欧州	42,864	41,365	△3.5%	10.4%
米州	42,127	42,104	△0.1%	9.9%
アジア他	22,375	22,294	△0.4%	12.5%
海外計	107,367	105,763	△1.5%	10.6%
合計	231,526	238,897	3.2%	8.8%

国内では、第2四半期に引き続きプレフィルドシリンジ（注射器に予め充填した薬剤）が大きく売上を伸ばしました。また、狭心症の治療などに使われる超音波診断カテーテルやPTCAバルーンカテーテルが好調に推移し、カテーテル商品全体の売上が拡大しました。電子体温計も好調をキープしヘルスケア商品の売上が大幅に増加しました。

海外では、現地通貨ベースで欧州、米州、アジアの全地域でおおむね二桁の売上伸長となりました。一部、心臓手術に使用する大型機器の購入先送りは継続しているものの、カテーテル商品を中心に全地域でバランスよく売上が拡大しました。

商品群別

（単位：百万円）

事業の種類別の セグメントの名称	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	伸長率	為替影響除く 伸長率
ホスピタル商品群	113,048	114,669	1.4%	4.0%
心臓・血管領域商品群	96,246	101,164	5.1%	14.2%
輸血関連商品群	18,215	17,921	△1.6%	5.6%
ヘルスケア商品群	4,015	5,142	28.1%	30.0%
合計	231,526	238,897	3.2%	8.8%

心臓・血管領域商品群はカテーテル商品が売上を牽引し、国内は二桁伸長、海外でも円高の影響をカバーし増収を確保しました。また、ヘルスケア商品群も引き続き電子体温計を中心に売上が大きく拡大しました。

ホスピタル商品群は、国内ではプレフィルドシリンジ、輸液剤などの医薬品が好調に売上を伸ばしました。トータルの売上は円高の影響があったものの、前年同期比で若干の増収に転じました。輸血関連商品群は、海外の売上比率が高く、回復基調にあるもののマイナス伸長となりました。

<粗利益・営業利益>

粗利益は1,261億円となり前年同期比2.1%の増益となりました。増産効果に加え、高収益品へのシフト、海外工場への生産シフト、生産効率向上によるコストダウンなどを図りましたが、円高、退職給付費用や愛鷹工場の新棟完成による減価償却費の増加などの要因が加わり、粗利益率は前年同期比で0.5ポイント下回り52.8%となりました。

販管費は、研究開発費については積極的に投下し前年同期比を上回りましたが、一般管理費の効率運用を引き続き徹底した結果、販管費率は前年同期比で1.7ポイント改善し31.9%となりました。

この結果、営業利益は、500億円と前年同期比で9.8%の増益、営業利益率は前年同期比1.2ポイント増の20.9%となりました。

<経常利益>

当第3四半期累計期間は為替差損が2億円となったため、前年同期比で17.9%増の504億円となりました。

<四半期純利益>

当第3四半期累計期間純利益は前年同期比で10.8%増の319億円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ262億円増加して4,053億円となりました。

流動資産は215億円増加して2,152億円となりました。現金及び預金が161億円、受取手形および売掛金が96億円増加、また、たな卸資産が6億円減少しました。

固定資産は47億円増加して1,901億円となりました。有形固定資産は4億円増加しました。無形固定資産はのれんの償却などにより24億円減少しました。また、投資その他の資産は時価評価により投資有価証券が125億円増加、これにより繰延税金資産が53億円減少、全体では67億円増加となりました。

負債の部は51億円減少して958億円となりました。

流動負債は60億円減少して877億円となりました。なお、当連結会計期間に短期借入金52億円減少しております。

固定負債は9億円増加して81億円となりました。

純資産の部は、313億円増加して3,095億円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ2.9ポイント増加し、76.3%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期見通しにつきましては、平成21年10月29日に公表いたしました連結業績予想を据え置くことといたしました。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

1) 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

2) 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	73,218	57,073
受取手形及び売掛金	76,436	66,865
商品及び製品	32,701	33,272
仕掛品	5,817	6,373
原材料及び貯蔵品	15,492	14,945
繰延税金資産	7,617	9,687
その他	4,638	6,173
貸倒引当金	△747	△733
流動資産合計	215,174	193,658
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	43,099	41,545
機械装置及び運搬具（純額）	30,193	33,067
土地	20,270	20,303
リース資産（純額）	627	548
建設仮勘定	10,586	8,584
その他（純額）	6,668	7,015
有形固定資産合計	111,444	111,064
無形固定資産		
のれん	23,354	26,823
その他	6,984	5,923
無形固定資産合計	30,338	32,747
投資その他の資産		
投資有価証券	36,220	23,686
繰延税金資産	6,262	11,528
その他	5,842	6,378
投資その他の資産合計	48,326	41,593
固定資産合計	190,109	185,406
資産合計	405,284	379,064

（単位：百万円）

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,144	27,812
短期借入金	20,000	25,190
リース債務	186	161
未払法人税等	7,583	6,022
賞与引当金	2,473	4,758
役員賞与引当金	142	172
繰延税金負債	342	173
設備関係支払手形及び未払金	4,694	5,605
その他	26,113	23,804
流動負債合計	87,679	93,700
固定負債		
リース債務	460	409
繰延税金負債	24	103
退職給付引当金	4,251	3,691
役員退職慰労引当金	658	659
その他	2,731	2,331
固定負債合計	8,127	7,196
負債合計	95,806	100,897
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	59,030	59,030
利益剰余金	307,840	282,058
自己株式	△76,811	△76,800
株主資本合計	328,776	303,005
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,430	△5,118
為替換算調整勘定	△21,878	△19,823
評価・換算差額等合計	△19,448	△24,942
少数株主持分	150	104
純資産合計	309,478	278,166
負債純資産合計	405,284	379,064

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	231,526	238,897
売上原価	108,054	112,835
売上総利益	123,471	126,062
販売費及び一般管理費	77,944	76,073
営業利益	45,527	49,989
営業外収益		
受取利息	1,027	323
受取配当金	418	262
受取ロイヤリティー	102	111
持分法による投資利益	61	72
その他	740	532
営業外収益合計	2,350	1,301
営業外費用		
支払利息	286	118
売上割引	413	438
為替差損	3,274	198
たな卸資産処分損	243	66
その他	939	98
営業外費用合計	5,157	921
経常利益	42,721	50,369
特別利益		
固定資産売却益	17	1
投資有価証券売却益	80	—
特別利益合計	97	1
特別損失		
固定資産処分損	129	64
投資有価証券評価損	33	—
特別損失合計	162	64
税金等調整前四半期純利益	42,655	50,306
法人税、住民税及び事業税	12,547	16,161
法人税等調整額	1,334	2,250
法人税等合計	13,882	18,411
少数株主利益	28	36
四半期純利益	28,745	31,858

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	42,655	50,306
減価償却費	13,107	13,263
のれん償却額	1,534	1,269
持分法による投資損益（△は益）	△61	△72
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△263	568
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△68	△1
貸倒引当金の増減額（△は減少）	32	17
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△47	△30
受取利息及び受取配当金	△1,446	△585
支払利息	286	118
為替差損益（△は益）	1,194	286
固定資産処分損益（△は益）	129	64
固定資産売却損益（△は益）	△17	△1
投資有価証券売却損益（△は益）	△80	—
投資有価証券評価損益（△は益）	33	—
売上債権の増減額（△は増加）	△4,680	△9,856
たな卸資産の増減額（△は増加）	△7,085	50
仕入債務の増減額（△は減少）	1,816	△1,698
その他	△7,918	3,805
小計	39,118	57,505
利息及び配当金の受取額	1,622	791
利息の支払額	△338	△129
法人税等の支払額	△28,769	△14,842
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,633	43,325
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,438	△15,256
定期預金の払戻による収入	2,983	9,646
有形固定資産の取得による支出	△11,614	△14,543
有形固定資産の売却による収入	17	8
無形固定資産の取得による支出	△820	△809
投資有価証券の取得による支出	△32	△108
投資有価証券の償還による収入	—	100
投資有価証券の売却による収入	580	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△3,286	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,612	△20,962
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△4,990	△5,190
自己株式の取得による支出	△18,006	△11
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△148
配当金の支払額	△6,593	△6,076
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,589	△11,426
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,022	△262
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△37,591	10,674
現金及び現金同等物の期首残高	85,377	55,067
現金及び現金同等物の四半期末残高	47,786	65,741

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

(単位：百万円)

	ホスピタル 商品群	心臓・血管 領域商品群	輸血関連 商品群	ヘルスケア 商品群	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	113,048	96,246	18,215	4,015	231,526	—	231,526
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	113,048	96,246	18,215	4,015	231,526	—	231,526
営 業 利 益	24,967	26,635	2,809	243	54,657	△9,129	45,527

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

(単位：百万円)

	ホスピタル 商品群	心臓・血管 領域商品群	輸血関連 商品群	ヘルスケア 商品群	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	114,669	101,164	17,921	5,142	238,897	—	238,897
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	114,669	101,164	17,921	5,142	238,897	—	238,897
営 業 利 益	27,207	29,156	2,660	575	59,600	△9,610	49,989

(注) 1. 各事業区分の主な製品

事業区分	売上区分	主要製品
ホスピタル 商品群	ホスピタル医療器	シリンジ（注射筒）、注射針、輸液セット、静脈留置針、 真空採血管、輸液ポンプ、シリンジポンプ 他
	医薬品類	輸液剤、高カロリー輸液剤、プレフィルドシリンジ、栄養食品 他
	腹膜透析関連	腹膜透析システム
	糖尿病関連	血糖測定システム
	在宅医療関連	在宅輸液システム、酸素濃縮器 他
心臓・血管 領域商品群	カテーテル システム	血管造影用カテーテル、PTCA用バルーンカテーテル、 コロナリーステンント、脳動脈瘤治療用コイル 他
	人工心肺システム	人工肺、体外循環システム 他
	人工血管	人工血管
輸血関連商品群	輸血関連	血液バッグ、血液自動製剤システム 他
ヘルスケア商品群	ヘルスケア商品	家庭用電子体温計、家庭用電子血圧計、血糖測定システム(OTC市場) 他

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

(単位：百万円)

	日本	欧州	米州	アジア他	計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	124,205	42,864	42,127	22,328	231,526	—	231,526
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	36,473	2,989	4,485	11,573	55,521	△55,521	—
計	160,679	45,854	46,612	33,901	287,048	△55,521	231,526
営業利益	41,743	5,638	1,736	5,897	55,015	△9,488	45,527

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

(単位：百万円)

	日本	欧州	米州	アジア他	計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	133,167	41,365	42,104	22,260	238,897	—	238,897
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	36,288	3,163	4,108	11,513	55,074	△55,074	—
計	169,456	44,528	46,212	33,774	293,972	△55,074	238,897
営業利益	45,527	5,655	2,808	6,666	60,657	△10,668	49,989

(注) 1. 国または地域の区分の方法および各区分に属する主な国または地域

(1) 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域・・・欧州:ベルギー、イギリス、ドイツ等
米州:アメリカ、カナダ、メキシコ等
アジア他:中国、UAE、タイ等

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

(単位：百万円)

	欧州	米州	アジア他	計
I. 海外売上高	42,864	42,127	22,375	107,367
II. 連結売上高				231,526
III. 連結売上高に占める 海外売上高の割合	18.5%	18.2%	9.7%	46.4%

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

(単位：百万円)

	欧州	米州	アジア他	計
I. 海外売上高	41,365	42,104	22,294	105,763
II. 連結売上高				238,897
III. 連結売上高に占める 海外売上高の割合	17.3%	17.6%	9.4%	44.3%

(注) 1. 国または地域の区分の方法および各区分に属する主な国または地域

(1) 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域・・・欧州：ドイツ、フランス、イタリア等

米州：アメリカ、カナダ、メキシコ等

アジア他：中国、タイ、オーストラリア等

(注) 2. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。